

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立加古川駅北自動車駐車場の設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	新型コロナウイルスの影響を受け、利用台数が減少している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅北ロータリーの混雑解消を図るため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅北ロータリーの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	5,597千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,347千円
	一般財源	4,250千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	043 加古川駅北自動車整理場管理事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	5,868千円	5,907千円	5,597千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	整理場の適切な維持管理が行われている。また、平成29年度より利用料金の上限設定を行い、利便性の向上を図っている。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用数	台	224,695	163,466	175,582

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場収容台数	台	23	23	23
活動指標分析結果	平成24年5月14日より供用を開始し、終日開業している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
1日当たりの整理場利用台数	台	615	447	481	令和8年度	534
成果指標分析結果	駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。※令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	東加古川駅周辺整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法

【事業概要】

現状と課題	JR東加古川駅周辺には踏切が近接して多数あり、踏切による渋滞や、歩行者や自転車の安全な通行が確保されていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	東加古川駅付近の鉄道を高架化し、近接する問題踏切等を除却することで、都市交通の円滑化を図り、併せて駅周辺市街地の活性化を図る。
対象 ※誰、何に対して	東加古川駅周辺
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県が事業主体となる「東加古川駅周辺の連続立体交差事業」の実現に向け、必要となる経費に対し負担金を支払う。県・市役割分担の中、実現に向けた調査・設計を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	69,836 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	10,536 千円
	一般財源	59,300 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	040 東加古川駅周辺整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	34,794 千円	69,836 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	引き続き幹線ネットワークの再編及び連続立体交差事業に伴う周辺まちづくりの方向性について検討・調査を進める。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	東加古川駅周辺整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象踏切の箇所数	箇所	8	8	8

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
関係機関と意見調整した回数	回	5	5	5
活動指標分析結果	定期的に事業主体等と意見調整を行い、一定の成果を得られている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
都市計画決定に向けた進捗率	%	0	0	5	令和8年度	100
成果指標分析結果	課題は山積しているが、解決に向けて着実に手続きを進めている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成5年度 ～ 令和8年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地の整備が済み、都市計画道路・区画道路に面した家屋の新築が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市機能（生活環境・利便性・防災性）の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。
対象 ※誰、何に対して	東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。加古川駅利用者、南北東西交通幹線道路の利用者など都心へのアクセスを目的とする車両等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	13,213 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	13,213 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	45,939 千円	351,708 千円	13,213 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	物件移転補償交渉が徐々に進み、道路整備延長とともに目標値に着実に近づいている。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
都市計画道路整備延長	m	3,191	3,191	3,191
区画道路整備延長	m	3,591	3,611	3,624

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
物件移転補償件数	件	416	416	416
道路築造工事延長	m	6,782	6,802	6,815
活動指標分析結果	令和3年度は、物件移転補償契約が未成立のため件数は416件と不変。道路築造工事は、区画道路をL=13.5m整備した。一方、未整備箇所が残っているため、事業計画を変更し完成目標年を令和8年度まで延長した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
物件移転率	%	99	99	99	令和8年度	100
道路整備率	%	97	97.3	97.5	令和8年度	100
成果指標分析結果	物件移転補償率は99%（416/420件、残り4件）。道路整備率は97.5%（6,815/6,987m、残りL=172m）となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成30年度 ~ 令和10年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	寺家町周辺地区は、古くからの商業集積地として機能してきたが、接道条件の悪さや権利の複雑さなどが原因で個別の建物更新が困難となり、老朽木造家屋が密集している。従って災害時の安全な避難や消火活動に必要な空間や、火災時の延焼遮断機能が確保できないという問題を抱えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅南西地区における防災機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川町篠原町および寺家町地区内(5.4ha)の権利者と居住者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	権利者を対象に、専門家によるまちづくり勉強会や個別ヒアリングを開催し、当該地区の課題解決策を住民主体で考える。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	10,428千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,428千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	100千円	3,520千円	10,428千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	平成30年度から継続開催しているまちづくり勉強会を、事業組合設立まで継続する。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
まちづくり勉強会対象面積	m ²	2,741	2,741	1,582

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
まちづくり勉強会開催回数	回	2	3	2
活動指標分析結果	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大によりまちづくり勉強会の開催が2回となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業への同意率	%	0	48	58	令和6年度	100
成果指標分析結果	令和3年度は、対象範囲を縮小し同意率の向上を図ったが、58%（11/19人）に留まった。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱

【事業概要】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。
対象 ※誰、何に対して	車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	3,165 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,165 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	040 宝殿駅南駐車場管理事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	3,890 千円	3,625 千円	3,165 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、宝殿駅南ロータリーの混雑緩和に寄与しており、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として再開発事業が実施されるまでは継続していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
宝殿駅の利用者数	千人	7,097	5,290	5,622

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場収容台数	台	20	20	20
活動指標分析結果	20台の駐車枠を確保している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
1日平均駐車台数	台	36.7	20.4	23.7	令和8年度	38
成果指標分析結果	1日当たり約24台の利用があり、宝殿駅の利便性向上に寄与している。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成13年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	4,811 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	4,811 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	044 厄神駅北駐車場等管理事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	5,203 千円	5,028 千円	4,811 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、JR加古川線の利用促進を図るためのパークアンドライド駐車場として整備しており、地域住民に対し利用啓発・周知を行い、さらなる利用促進に努めていきたい。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	都市計画課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
厄神駅の利用者数	千人	609	485	480

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐車場収容台数(定期)	台	80	80	80
駐車場収容台数(時間)	台	25	25	25
活動指標分析結果	定期駐車と時間貸し駐車のを割合を適正に配分している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
月平均駐車台数(定期)	台	63.5	59.5	53.9	令和8年度	75
1日平均駐車台数(時間)	台	18	12.8	11	令和8年度	17
成果指標分析結果	定期駐車が月平均約54台、時間貸し駐車が1日平均約12台、月平均約390台の利用となっており、パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進に寄与している。(令和2、3年度においては新型コロナウイルス感染拡大の影響により利用者が減少した。)					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法、(通称)自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保や防災活動の円滑化、まちの美観の確保が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図ることで、美しいまちなみの保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	交通手段として自転車を使用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	58,136千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,452千円
	一般財源	56,684千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	46,625千円	47,486千円	58,136千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業のPR等で自転車の放置禁止は、市民に浸透してきている。加古川駅周辺への公共施設移転に対しては、指導員の配置について随時見直しながら自転車の放置防止に努めており、適切に対応できている。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	自転車対策事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市内の自転車防犯登録台数	台	17,705	17,228	16,487

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
放置自転車等撤去台数	台	1,636	1,020	990
有料駐輪場利用率	%	66	56.8	58.6
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。令和元年度は好天が多く撤去台数が増加したが、令和2～3年度は新型コロナウイルスの感染拡大による外出自粛の影響を大きく受け、減少したものと考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
撤去自転車等減少率(対前年比)	%	106	62.3	97	令和4年度	95
成果指標分析結果	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全も図られている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅第一自転車駐車場管理運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	04 快適なまち
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	02 都市拠点機能の充実
事業実施期間	令和2年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	定員に対して利用者が少なく、管理員が常駐するだけの収入がない。しかし、近隣の民業圧迫となるため、使用料の値下げは困難である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	使用料収入の範囲で運営し、駅周辺の道路や駅前広場などの公共スペースに自転車が放置されないようにする。
対象 ※誰、何に対して	東加古川駅の利用者で、自転車で通勤、通学する者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	有料自転車駐車場である、加古川市立東加古川駅第一自転車駐車場の管理・運営を行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	1,622 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,622 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	1,501 千円	1,622 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 運営経費の節減に努め、健全な運営ができています。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	東加古川駅第一自転車駐車場管理運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
駐輪場利用者数	人	0	65	59

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規申込者数	人	0	95	24
活動指標分析結果	新規利用者は年間10人の獲得を目指す。令和2年度は延べ95人の利用があったが、新型コロナウイルスの影響によるとみられる解約も多かった。令和3年度も緊急事態宣言発令の時期にテレワークやオンライン授業などの影響か、学生の解約も見られた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
駐輪場利用率	%	0	19	17.2	令和5年度	23
成果指標分析結果	利用率は目標を下回ったが、収入の範囲内で運営することができた。					